

JAPANESE RED CROSS NAGOYA DAIICHI HOSPITAL

人間を救うのは、人間だ。Together for humanity

日赤なごや



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター



2011.Winter Vol. **31**

●発行/名古屋第一赤十字病院 ●発行責任者/広報活動委員会 〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地 TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733

MESSAGE

新年のご挨拶

Topics

入院生活に心温まる音楽を!

「中国琵琶コンサート」

当院と地域の皆さんをつなぐ
ココロの交流フェア開催!



Smile Message
早期治療に貢献できる
放射線技師に

新年のご挨拶



皆様、新年明けましておめでとーございませう。

昨年も我が国の医療を取り巻く環境は依然として厳しいままに推移いたしました。高齢化社会における医療ニーズが増大する一方で、医師不足・診療科ならびに地域による医師の偏在の問題がますます顕著となっております。国の医療政策上の適切ななかじ取りが強く求め

られるところであります。こうした中で当院は一昨年初めから外来病棟共に新病棟での診療が開始され、また昨年3月には旧病棟の撤去と跡地の駐車場整備ならびに外構工事もすべて完了し、病院内外共にすっきりした形が整いました。前庭に残しました創立時の建物の玄関部分



院長
小林陽一郎 先生

は創立73年の歴史の象徴として、モダンな高層新病棟とのコントラストが際立ち近隣の皆様はじめ当院を訪れる人々から評価をいただいています。新たに整備されました施設の中で、3月には大規模災害を想定した災害救護訓練も行われ、やがては来るであろうといわれる東海・東南海沖大地震等の災害時に備え、地域中核災害医療センターとしての受け入れ態勢に万全を期しています。また昨年11月には休日

の土曜日を利用して、市民の皆様と我々病院職員との交流の機会を設けるべく行事を企画いたしました。1500人もの大勢の方々にご来院いただき、健康教室、いくつかのアトラクション等を通じて職員と顔を合わせていただくことができ、日頃は病院とは無関係の方々にも新病院の中に立ち入っていただき病院というもののご理解をしていただくことに寄与できたのではないかと思っております。このような活動を通じて当院の果たしています救命救急センター、総合周産期母子医療センターとしての三次救急医療の役割の一端をご理解いただければと思います。

これからの当院の将来構想として考えていますのは、この地域の産科医療の一層の充実を図るべく院内産院（バースセンター）の増設、また増加し続けていますががんの診療につきましても地域のがん診療連携拠点病院としての役割、ことに外来化学療法センター、緩和ケア病棟等の充実を図っていききたいと思っております。また療養環境を一層充実させるべく構内の緑化を推進し、前庭をメモリアルガーデンとして病院の癒しの場となるよう更なる



10年3月に行われた大規模災害訓練の様子

整備をしていく計画を立てております。もとの医療面においては一層高度・良質な医療を目指し、地域医療支援病院として、名古屋市はもとより隣接する海部尾張中部等の医療圏をも含めて我々の責任医療圏とみなし、高度急性期総合病院としての中核的な役割を担いつつ、この地域の多くの病院はじめ診療所の先生方とは密接な連携関係を持ち地域完結型医療を目指してまいります。

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。



入院生活に心温まる音楽を! 「中国琵琶コンサート」



ソプラノ歌手の河地未奈子さん(中央)、ピアニストのマリ・リーさん(左)も合奏に加わり、美しいハーモニーを披露。

去る12月14日、内ヶ島講堂で「中国琵琶コンサート」を開催しました。今回で18回目を迎えるこのコンサートは、当院に入院されたことがある中国琵琶の第一人者・涂善祥(ト・ゼンシヨウ)さんと、奥様でソプラノ歌手の矢野留美さんが感謝の気持ちと患者さんの回復を願い、毎年行っているものです。

会場には点滴をひいた入院患者さんをはじめ、毎回来しみにしている地域の方や涂さんのファンなど100人を超える方が来場しました。

「20年前、私もノドの手術で入院しました。入院生活にもっと何か楽しみを、と思ったのがこのコンサートのきっかけです」と矢野さん。涂さんとともに中国の民族音楽からクリスマスソングまでアンコールを含めた全14曲を披露。「次は病気を治してコンサートホールで会いましょう」という涂さんの言葉に盛大な拍手が贈られ、「コンサートは幕を閉じました。」

演奏してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



当院と地域の皆さんをつなぐ ココロの交流フェア開催!



去る11月6日、「ココロの交流フェア2010」地域とともに明るく未来へ」と題し、病院フェスティバルを開催しました。このイベントは、3期8年におよぶ全面改築工事の完了を記念し、地域の皆さまに当院がより身近で親しみやすいものとなるよう企画したものです。



当日は予想を超える約1500人の方が来場。カローリクイズや健康チェックコーナーなど、健康をテーマにした各種イベントを楽しまれました。

来場者の中には初めて当院を訪れた方も多く、新しくなった病棟やイキイキと働く当院スタッフの様子に、「すぐく明るい病院なんですわね」という声も聞かれました。

これからもこうした催しを通して、地域の皆さんとの交流を深め、健やかで明るい未来をとともに築いていきたいと思っております。



皆様からの
ご質問に
お答えします



外来予約センターでは、
どんなことを行っているのですか？

A 当院の外来診療は、すべて予約制となっています。その予約に関する業務を下記のスケジュールで行っているのが、西棟1階の「2番:外来予約センター」です。

- 午前…「初めて来院される患者(新来患者)さん」が、来院された日に外来受診できるようにするための「診察の予約」
- 午後…「紹介状をお持ちの新来患者さん」を対象とした電話での「予約の受付」と「すでに診察のみ予約を取られている患者さん」を対象とした電話での「予約の変更」

当院では、初めて外来受診される方も、安心して診察を受けていただけるよう『かかりつけ医』に紹介状を書いていただき、事前に予約をお取りになった上で、ご来院されることをお勧めしております。

※詳しくは、外来予約センターへ直接お尋ねいただくか、下記の連絡先までお問い合わせください。

外来予約センター 電話受付時間:月~金曜日(13:00~17:00) TEL:052-485-1489(直通)



Smile Message

表紙の人：診療放射線技師 / 四辻万利子(よつじ まりこ)さん



早期治療に貢献できる放射線技師に

すべての治療の始まりには必ず検査があります。その中で、レントゲンやCTなどの放射線機器を用いて検査を行うのが診療放射線技師です。検査による病変の早期発見は治療のカギ。特にがんの場合は患者さんの予後を大きく左右します。医師が的確な診断を行えるよう、いかに患部を鮮明に撮影するかが診療放射線技師の腕に掛かっているのです。

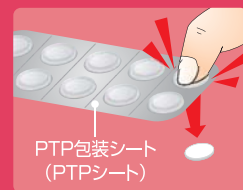
しかも患者さんの中には、以前がんを患い再発への不安を抱えて検査室を訪れる方もいます。患者さんと接するのは本当にわずかな時間ですが、できる限り笑顔で声を掛け、不安を和らげるのも私の大切な役割。これからも常に患者さんの気持ちに配慮した検査を心掛け、放射線治療で患者さんのいのちを救う“放射線治療技師”を目指していきたいと思います。

おクスリ豆知識

第19回

PTP包装シート(PTPシート)の話

右図は、PTP包装シート(PTPシート)と呼ばれるものです。長年、お薬を服用されている方はご存知かもしれませんが、このシートは以前、1錠ずつ切り離せる構造になっていました。しかし、錠剤と一緒にPTPシートを誤飲してしまう事故が頻発。そこで製薬企業は十数年前に1錠ずつ切り離せないようにシートを改良しました。



しかしその後も、PTPシートの誤飲は後を絶たず、昨年9月の独立行政法人国民生活センターの発表では、薬を包装ごと飲みこんでしまい、喉や食道などを傷つけた事故は2000年から2009年までに86件。内訳を見ると、女性が7割を占めており、年代別にみると、70代が33.7%、80代が26.7%。60代から80代の方で8割が占められ、薬を服用する機会の多い高齢者に多く見られます。また、誤飲の結果、危害のあった部位では、食道(43%)、腹部(25.6%)が半数以上を占めていました。

1錠単位に切り離れたPTPシートをそのまま飲み込んでしまうと、自力で取り出すことは困難です。X線写真にも写りにくいため、内視鏡で取り出すことになり、身体への負担も大きくなります。そこで、被害の未然防止・拡大防止のため、あらためて消費者への注意を喚起しています。お薬を服用中の方、ハサミなどで1錠ずつ切り離して準備されている方は、十分注意してください。

ココロの交流フェア2010 ～地域とともに明るい未来へ～

今回のインフォメーションでは、昨年11月6日に開催した病院フェスティバルの様子をご紹介します。



オープニング・セレモニー

矢野きよ実さん ⊕ ココロの交流 スペシャルトーク ～今伝えたい国際救護支援活動～

名古屋のタレント・矢野きよ実さんをゲストにお迎えし、国際救護支援活動に参加した難波さんと可知さんの活動内容をわかりやすくスライドで紹介しました。

「私が18のときに、父はこの病院で亡くなったんです。今でもそのときの空気、先生や看護師さんに掛けられた優しい言葉は忘れないですね」と矢野さん。ご多忙の中、今回のイベントの一日交流大使を務めてくださいました。



コミカルなパフォーマンスで闘病中の子どもたちを笑顔にしてくれる「ホスピタルクラウン」がステージでパフォーマンスを披露。



健康セミナー開催(写真は認定看護師による心肺蘇生「AEDの使用法」の講習)



災害時の非常食として活躍する炊飯袋を使った炊飯を実施しました。

VOICE

- 出産のときにお世話になった可知さんの講演を楽しみに来ました。
- 4月から養護教諭になるので、今日は健康セミナーで知識を深めたいと思います。

- 前の病棟は怖いイメージもありましたが、今の病棟はすごく明るくてホテルみたい! 病院のイメージが変わりました。
- AEDの使い方を丁寧に教えてもらったので、実際にできそうな気がします。

- 病気になったときくらいしか病院は行く機会がないので、こういった交流イベントをこれからもぜひ続けてほしいです!
- 病院がこういうイベントをやってるなんて知りませんでした。おもしろいですね!

掲示板

がんサロン“コスモス”開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン“コスモス”を今年も開催いたします。予定は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

第11回 1月27日(木)	第12回 2月25日(金)	第13回 3月24日(木)
会場 東棟2階 会議室1	会場 東棟2階 会議室1	会場 東棟2階 会議室1
時間 15:00~16:30	時間 15:00~16:30	時間 15:00~16:30

赤十字健康教室開催のお知らせ

● 高齢者の骨折について(予定) リハビリテーション科部長 井上英則 先生

日時 2月16日(水) 14時~16時 会場 東棟2階「内ヶ島講堂」
参加費 無料

※詳細は病院内掲示板をご覧ください。

中日ドラゴンズ選手慰問

昨年見事にリーグ優勝を果たし、私たちに多くの感動を与えてくれた中日ドラゴンズの選手たちが、今年もまた当院にやってきます。今年で26回目を迎える中日ドラゴンズ選手慰問です。皆さまお誘い合わせの上、ぜひ会場に足をお運びください。

日時 1月25日(火) 10時~
会場 東棟2階「内ヶ島講堂」



※写真は昨年の様子です。

外来診療担当医表

診療科目		月	火	水	木	金
内科	血液	小澤	宮村	宮村	小澤	渡邊
		小野寺	瀬戸	後藤	瀬戸	小山
		PM 後藤	—	PM 渡邊	PM 小野寺	PM 宮村
	内分泌	池庭	岩田	山守	村瀬	山内
		山内	山守	—	山守	堀部
	腎臓	青山	市田	—	島田	市田
	神経	新美	真野	後藤	真野	後藤
			新美			
		中野	陸	中野	陸	櫻井
	循環器	岡田	PM 田中	櫻井	岡田	田中
神谷		交代(花木)	大野	大野	柴田	
三浦		三浦	神谷	柴田	小栗	
呼吸器	新患	伊藤	横山	祖開/林	野村	加藤
		酒井	加藤		酒井	野村
	再診	野村	夏目	伊藤	横山	林
消化器	PM 横山	PM 佐野			PM 祖開	
	中村	春田	亀井	山口	春田	
	小林	山口	中村	西野	小林	
	水谷	山	澤田	山	佐藤	

●初診時に予診(医師による問診)を行った後、各専門外来を受診していただけます。

診療科目		月	火	水	木	金	
小児科	午前	羽田野	加藤	松本	羽田野	生駒	
		鈴木	糸見	安田	鬼頭	生田	
		大城	立花	横塚	川島	吉田	
	午後(専門外来)	関屋	大森	西門	成田	齊藤	
		循環器	羽田野	—	—	—	
		血液	—	加藤	—	松本	加藤
		神経	—	—	生田	糸見	夏目
		腎臓	—	月舘	—	—	月舘
		新生児発達	鬼頭	鈴木	立花	安田	大城
		フォローアップ	—	齊藤	—	—	—
予防接種	—	(交代)	—	—	—		
乳児健診	—	—	(交代)	—	—		
小児内分泌	(第4週目のみ開設)			上條	—		

●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。

診療科目		月	火	水	木	金
一般消化器外科	宮田	竹内	小林(陽)	永井	宮田	
	三宅	服部	湯浅	川上	三宅	
	井村	林	青山	PM 竹内	川合	
乳腺・内分泌外科	—	—	PM 小林(俊)	—	—	
	—	PM 後藤	後藤	後藤・植木	PM (交代)	
心臓外科	藤井/PM 澤木	伊藤	前川	星野	砂田	
血管外科	—	—	—	上遠野	—	
呼吸器外科	PM 石川	PM 森	—	—	森	
小児外科	津田	津田	—	津田	—	

診療科目		月	火	水	木	金
整形外科	新患	林/森下	—	林	—	森下
		(交代)	神谷	大塚	松下	広石
	再診	大澤	堀井	井上	堀井	大澤
		井上	藁科	青木	藁科	青木
		洪	松下	広石	洪	神谷
—	—	竹内	大塚	山田		

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	新患	稲尾	内藤	稲尾	岡本	岡本
	再診	片岡	—	青木	—	藤谷
皮膚科	新患	北村	山木	影山	山木	北村
	再診	影山	北村	山木	北村	影山
泌尿器科	加藤	村瀬	山本	鈴木(弘)	村瀬	
	吉田	山本	鈴木(弘)	加藤	古橋	
	—	—	PM 加藤	—	吉田	
女性泌尿器外来	—	加藤	鈴木(省)	—	—	
	—	鈴木(省)	—	—	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	石川	石川	石川	石川	石川
	再診	新保	水野	坂田	南	坂堂
	化療外来	—	坂堂	(交代)	新保	—
	生殖内分泌・内視鏡	安藤/PM 堀	安藤	—	安藤	安藤
	妊婦診	宮崎	古橋	左高	吉田	堀
助産師外来	—	—	助産師	—	助産師	
眼科	新患	杉田	(交代)	佐藤	(交代)	佐藤
	再診	(交代)	(交代)	榊原	(交代)	榊原
	(交代)	(交代)	岩味	(交代)	岩味	
耳鼻咽喉科	新患	鈴木	寺田	柘植	稲垣	西川
	再診	柘植	鈴木	寺田	柘植	寺田
リハビリテーション	青木	洪	大澤	井上	藁科	
放射線科	山田	山田	山田	山田	山田	
●詳しくは受付にお問い合わせください。						
歯科・口腔外科	新患	大岩	藤原	(交代)	佐藤	(交代)
	再診	藤原	大岩	—	大岩	—
		阿部	佐藤	—	藤原	—
—	—	阿部	—	—	—	
●口腔外科診療のみで、通常の歯科診療は行っていません。						

外来診療のご案内

- 初診 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・紹介状(初め受診される方)各種医療証書を添えて、新患受付にお出しください。
- 診療受付時間 午前8時20分～午前11時(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- 休診日 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- セカンドオピニオン 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。 専門外来 患者相談室 電話 052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)

当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

- 健康管理センター 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- 受付時間 月～金曜日(休診日を除く) 午前8時50分～午後5時20分 電話 052-471-3855(直通)

■ 休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP >> 外来のご案内 >> 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX052-482-7733
http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

1. 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
2. 高度・良質で安全な医療をいたします。
3. 災害救護活動を積極的に行います。
4. 周産期・小児及び救急医療を充実します。
5. 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
6. 職員の教育・研修を推進します。
7. 健全経営を維持するよう努めます。